

親子で話し合ってみましょう

主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう、家庭での生活について親子で一緒に確認してみましょう。

- 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- 毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- 毎日、朝食を食べている。
- 本や新聞、電子書籍を読む習慣が身に付いている。
- 時間を決めて学習している。
- 計画を立てて家庭学習に取り組んでいる。
- テレビやゲーム、ネットなどの時間を決めている。
- 携帯電話(スマホなど)を使用するときのルールやマナーについて親子で話し合っている。
- 心を落ち着け、リラックスする時間がある。
- 社会や学校での出来事について親子で話をしている。



学習に取り組む時間帯を親子で一緒に考え、表に書き入れてみましょう。

【学習に取り組む時間帯の例】

- ・学校から帰ってすぐに
- ・夕食後に
- ・朝食前に



学習時間は、各学校で示されている目安の時間を参考に設定しましょう。

【平日】

午前												午後										
5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11				

【休日】

午前												午後										
5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11				

家庭での過ごし方や家庭学習に役立つ資料やプリントを紹介しています。



家庭学習のすすめ



子供たちの学力の向上には、「主体的に学習に取り組む態度」の育成が必要です。そのためには、学校での学習だけでなく、家庭での学習や家族の関わりがとて大切です。知識・技能の定着を図るとともに、様々な活動を通して知的好奇心を培い、夢や目標をもつことができるよう、子供に声をかけたり話し合ったりすることで、家庭学習の内容を充実させましょう。

※「主体的に学習に取り組む」とは、次のような姿です。

- ・粘り強く学習に取り組む
- ・これまでの学習活動を振り返って次の学習につなげる

保護者の働きかけが、子供たちの「生きる力」を育む大きな原動力になります。

保護者の働きかけがある子供の学力は高いという傾向があります。

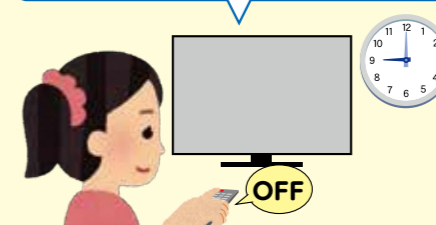
(平成29年度全国学力・学習状況調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究)
(令和4年度学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究)

例えば……

学校の勉強や友達のこと、地域や社会の出来事、将来や進路など家庭での会話が深い。



テレビ・ビデオ・動画を見る時間などのルールを決めている。



テレビゲーム(スマートフォンなどの利用を含む)をする時間を限定している。



子供に本や新聞、電子書籍を読むようにすすめている。



子供に最後までやり抜くことの大切さを伝えている。



地域や社会に貢献するなど人の役に立つ人間になることを重視している。





「主体的に学習に取り組む態度」を育てましょう



～ 学校・家庭・地域で学んだことが、明日、そして将来につながるように ～

家庭学習を通して「主体的に学習に取り組む態度」を育てるための3つのポイント

意欲を高める

子供ががんばっていることを
家族で応援しましょう。

子供は、自分ががんばっていることを
認められると、もっとやってみよう
という気持ちになり、いろいろなことに
チャレンジしようとする意欲を高めます。



こんな一言を

- 勉強や部活動でがんばっている姿を見るとうれしいな。
- 目標に向かって努力しているね。
- 今のがんばりがよい結果につながるよ。
- 最後までやり抜くことができるといいね。

生活習慣を整える

子供が生活のリズムを整えられるよう
家族で協力しましょう。

テレビやゲーム、インターネットの時間
など、家庭での過ごし方を家族みんな
で考え、生活習慣を整えることで、学習に
集中する環境を整えることができます。



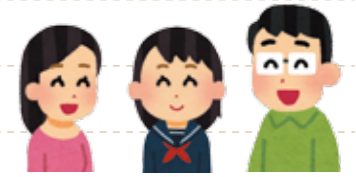
こんな一言を

- どんな時間の使い方をしたらいいかな。
- みんなで決めたルールを守っているね。
- 自分で考えて行動できるようになったね。
- 計画通り行動できたから、時間にゆとりができたね。

将来の夢を育む

子供と共に、将来の夢や目標について
家族で語り合しましょう。

社会で話題になっていることや、子供が興味をも
っていることなど、子供といろいろな話をするこ
とで、子供の視野は広がり、将来の夢や目標
をもつことにつながります。



こんな一言を

- 今話題の〇〇って、どういうことかな。
- 新聞にこんなことが書いてあったよ。
- どんな分野の勉強に興味があるの。
- 将来〇〇になるには、どんな力が必要なのかな。

粘り強く、継続して取り組む学習

- 理解を確かめるために、授業のノートを見直し、教科書や資料集、動画視聴等を基にポイントを書き加える。
- テストで正答できなかった問題を見直し、類似の問題に取り組む。
- 授業で疑問に思ったことを、教科書や資料集などを使って調べる。
- 英語の表現力を高めるために、辞書を使って英語で日記を書く。
- タブレット端末を持ち帰り、動画やデジタル教材等を用いて授業の予習・復習を行う。

自主学習例



興味・関心に応じて取り組む学習

- 興味・関心のある分野の知識を深めるために、インターネットや専門書を活用して、最先端の情報を調べる。
- 技術・家庭科で学習したものづくりや調理、裁縫などの技術を生かし、生活をよりよくするためにはどうすればよいか考え、実践する。
- 教養を深めるために、社会情勢などに目を向け、新聞の記事やコラムを読み、考えたことについて家族や友達と話し合う。